



貴重なカマキリかもしれないと思い、さっそく写真を県の博物館に送って調べてもらおうと「ヒナカマキリかもしれないが、はっきりと分からない」という返事が返ってきた。ますます気になる。

パソコンの前に座りインターネットで手当たりしだい調べてみると「これだ！」の声。

そこには、“サツマヒメカマキリ”の名前が…。その中には、『卵で越冬するカマキリの中で、唯一幼虫で越冬するカマキリとして大変珍しい』との文字。

正月前のクリスマスの日。門松の中から発見された珍しいカマキリは、サンタさんからの贈り物だったのかもしれないね。

## 『珍しいカマキリを発見！』

“サツマヒメカマキリ”。この名前を、あなたは聞いたことがあるだろうか。名前を聞くと“鹿児島に生息しているカマキリ”という感じで、見たことがあるような、ないような…。しかし、このカマキリ。ものすごく小さく、発見される事が珍しいという事で有名なんだそうだ。

発見したのは、大丸小学校の教頭先生。12月25日に正月用の門松を制作中、飾り木の中に見慣れぬ姿を発見。よく見ると、体長わずか2cmという小さなカマキリ！教頭先生も思わず「なんだコリャ？」校舎の中にいた先生達に見せても「何これ？」と首をかしげる。



## 『手作り凧！天まで届け！』

12月26日(水)、町総合体育館において、大崎町教育委員会が毎月行っているキッズセミナーで、「凧づくり・凧あげ大会」が開催されました。

大会には、町内の小学生45人が参加しました。凧づくりの講師として迎えた中村幸士郎先生（新地集落）が、竹籤とビニルシートを使った凧づくりを丁寧に教え、子ども達は一生懸命に手作り凧を完成させました。芝生広場に向かい、凧を片手に走り出す子ども達の表情は、期待感と好奇心に満ち溢れ、キラキラと輝いていました。

## 『作業着姿の公民館長！』

12月26日(水)、正月が近づく年末の忙しい中、町中央公民館前には、作業着姿の各公民館長が集結した。一人ひとりが現場監督となって作業開始！現場には「もうちょっと左じゃが！」などの声が響き渡り、約2時間後、作業終了。

公民館の玄関前に完成したのは、2メートルは優に超える巨大門松一对。これは、町成人式に花を添えようと始めた活動で、今年で3年目。自分達で材料や道具をかき集め、ボランティアで実施している。

各公民館長は「新成人の門出に少しでも役に立てたら嬉しい」と笑顔で話されていました。

